

第6回大阪府住生活審議会 議事概要

日 時： 令和7年12月16日（火）14時00分～15時30分

場 所： 大阪赤十字会館 3階 302会議室 ※ウェブ会議併用

報告事項：（1）審議経過と今後の進め方（案）

（2）大阪における今後の住宅・建築政策のあり方答申（案）

（3）新 住宅建築物耐震10ヵ年戦略・大阪（素案）

（4）居住安定確保計画推進部会での検討状況

（5）その他

（1）審議経過と今後の進め方（案）

（2）大阪における今後の住宅・建築政策のあり方答申（案）

○委員

・4章(的確な施策展開のための市場調査)とあるが、市場だけでなく現状の施策の取組状況や進捗状況なども把握し踏まえるべき。

○委員

・4章(進捗状況の把握と点検)について、わかりやすい指標とあるが、計画の進捗状況を正確に把握できるものであるべきなので的確な指標という文言で、共有する努力をしていただきたい。

○会長

2章の「○生活関連産業の活性化」の中の、「不動産取引等の差別の解消」というのが違和感がある。不動産取引等における課題、例えば登記の義務化などの状況を追記するのか、もしくは、活性化の前提として必要な事項として、タイトルに活性化・適正化のようになにか追記するなどがいいのではないかな。

○事務局

・表現を検討し必要に応じて追記・修正していく。

○会長

・大枠には影響ないと考えるため、会長一任のもと修正対応とさせていただく。

～ 異議なし ～

（３）新 住宅建築物耐震 10 ヵ年戦略・大阪（素案）

○委員

・P20 の小中学校が 1 つ未だ耐震性不足という点について、事情があるかと思うので出来る限り補足が必要ではないか。

○事務局

・民間の大規模建築物の耐震性不足棟数ということで、可能な範囲で事情等を確認し、必要に応じてできる限り補足する。

○委員

・調査フローなどにある把握しようとしていることは、単身世帯などの世帯特性だけではないように思える。表現として、「世帯特性」だけでなく所有者の状況や環境なども含めていることがわかる表現とした方がいいのではないか。

○事務局

・検討させていただく。

○委員

・宅地の安全性に関して、擁壁の耐震改修や液状化対策に関する内容は本計画には盛り込まれないのか、あるいは、他の計画でカバーされているのか。また、個人住宅では積載荷重を減らすことが安全性の向上にも効果的と考える。そういった日常の注意事項について言及してもいいのでは。

○事務局

・宅地の安全性については、現計画案では 38 ページの「ハザードマップの活用」という表現に留まっている。36 ページ以降の「その他関連施策の促進」のところで、市町村などと連携して取り組む周知啓発等の内容を記載しており、液状化や積載荷重の件について追記できないか検討する。

（４）居住安定確保計画推進部会での検討状況

○委員

・「困難な問題を抱える女性」について、資料 3 ページの文章の中で「その特性を考慮しながら」という表現をされているが、「特性」という言葉は一般的ではないという意味と、その人が持つ特有の性質という意味合いがあると思う。本人の特性ではなく社会的に置かれている状況が困難であることだと思うので、今後、特性という言葉で説明するのではなく表現の検討をしたほうがよいと思う。

・資料 7 ページの居住サポート住宅のあり方のところで「広く制度の周知を実施」とあるが、補助制度があるのか、またメリットやそれらを活用するための具体的な仕組みなどを示して普及啓発を進める必要があるのではないか。

○事務局

- ・「特性」については、困難女性支援法での表現等との兼ね合いも考慮しつつ、支援を必要とする人にとって不適切な表現にならないよう検討し、必要に応じて修正していく。
- ・国の補助制度の周知については、実際に制度を活用する大家や居住支援法人等に対し、市町村や市町村協議会、その他関係団体を通じて周知を徹底していく。

○委員

- ・資料 7 ページの府の緩和基準におけるシェアハウスについて、居室の個人の専用部分に風呂・トイレ・キッチン等の水割りは含まれる前提なのか確認したい。緩和できる範囲について教えてほしい。

○会長

- ・資料 7 ページの「専用居室」の部分には水回りが含まれず、トイレや風呂等は「住宅の面積」の方に含まれる。また、専用居室には収納が必須であり、手洗い等はなくてもよいという理解で問題ないか。

○事務局

- ・その通りである。

○会長

- ・大阪府はセーフティネット住宅の数が全国最多であるため、これらが居住サポート住宅へ移行していくように、大家と居住支援法人のマッチング等が課題になってくると考える。

(5) その他

- ・特に無し
- ・本日いただいたご意見を踏まえ、事務局にて、答申や計画改定などに向けた整理を進める。